令和７年第２回にかほ市議会　３月定例会

市　政　報　告

次に、最近の市政について報告いたします。

○ にかほ市地域防災計画の改訂について

今年度、５年振りのにかほ市地域防災計画の改訂を進めており、１月 16 日に第１回防災会議を開催し､国の防災計画と県の地域防災計画との整合性を図り、市の対策本部設置基準の見直し等を含む改訂案を提示しました。

２月 19 日の第２回防災会議において、委員の意見等を取り入れた計画が策定されましたので、４月に公表を予定しております。

○ 災害時における相互応援にかかる協定について

２月５日、奥の細道を縁として、栃木県大田原市と、災害時における相互応援にかかる協定を締結しました。

大田原市は、栃木県の北東部に位置しており、昨今の大規模災害の広域化、頻発化に備え、同時に被災する可能性の低い地域との広域連携は重要な対策と考えております。

今回の協定により、市民の安全・安心を一層強化して参ります。

○ 津波災害ハザードマップについて

平成 25 年度、津波災害ハザードマップを全戸配布しておりますが、令和４年度に県より指定された津波警戒区域を反映した、津波災害ハザードマップを作成しました。

３月 14 日全世帯に配布を予定しております。

○ ふるさと納税について

令和６年度のふるさと納税は、令和７年１月末時点で件数が 18,867 件、寄附額は前年度比１％増の７億 6,897 万 6,000 円となっております。

令和５年度の制度改正による返礼品の変更や、寄附額の再設定の必要が生じ

たことから、４月以降、低調に推移しておりましたが、10 月以降に寄附額が増加したことにより、結果として前年度を上回っております。

これは、米の品薄などの影響により、米を確保する一つのチャンネルとしてふるさと納税が注目されたことや、経費の見直しなどにより増加したものと考えております。

ふるさと納税による寄附については、大変貴重な財源であることから、引き続き、制度に合わせた既存返礼品の内容の見直しと、時節のニーズを捉えた新規返礼品の開発など、今後も寄附の増加に向けた取り組みを進めて参ります。

○ 脱炭素社会の実現に向けた取組みについて

令和５年度、にかほ市地域脱炭素推進協議会を設置し、2050 年脱炭素社会の実現に向けて、地域の再エネ目標や具体的な取組みを検討し、にかほ市版 地域脱炭素将来ビジョンとなる「地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」の作成等に取り組んで参りました。令和６年度末に公表を予定しており、計画の実行性を高めるため､併せてゼロカーボンシティ宣言を行うことも予定しております。

令和７年度からの実行に向けて、官民連携のうえ、地域の利益に資する取り組みを推進して参ります。

○ 住民税非課税世帯等に対する給付金について

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため、国や県の補助財源を活用しながら、令和６年度住民税非課税世帯に対し、１世帯当たり３万円を支給する住民税非課税世帯支援給付金と、18 歳以下の子ども１人当たり２万円を上乗せ支給する低所得子育て世帯加算給付金と、１世帯当たり６千円を支給する灯油購入費等助成金を実施しております。

対象世帯には２月１日付で申請書類等を送付し､支給対象 2,655 世帯のうち、2,268 世帯についてはプッシュ方式で２月 27 日に振込み予定となっております。プッシュ方式の対象外となった住民税非課税世帯、住民税非課税世帯に未申告者や転入者が含まれる世帯の 387 世帯については、順次、申請受付・審査のうえ、支給を開始します。

○ 学童保育星城クラブの閉所について

上郷地区の学童保育は、社会福祉法人明星福祉会に委託し、開設しておりま

したが、支援員の退職等でスタッフの確保が出来ず、学童保育の運営継続が難しい状況にあるとの相談がありました。

今後の利用の意向等について、上郷地区の未就園児を除く０歳から小学校５年生の保護者を対象にアンケート調査を行い、11 月には、保護者説明会を開催しました。

上郷地区の学童保育クラブの存続について、アンケート結果を基に検討を重ねた結果、令和７年度より象潟地区と上浜地区の二つの学童保育クラブにおいて、上郷地区の放課後児童の受け入れを行うこととなりました。

今後も、放課後や長期休みにおける適切な遊びや生活の場を確保し、保護者や児童が安心して利用できる環境の整備に努めて参ります。

○ 介護サービスの充実について

令和６年 10 月、市内に 24 時間 365 日の訪問介護を行う定期巡回随時対応型訪問介護・看護事業所が開設されました。市では、開設準備に対し補助金を交付し、支援を行っております。

医療・介護の総合的ニーズを有する高齢者が要介護状態となっても、住み慣れた自宅で少しでも長く生活できるよう、また 24 時間、夜間の転倒や体調不良など急な連絡にも対応できるよう在宅生活を支援できる体制を整備しております。

今後も、介護サービスの適切な提供に取り組んで参ります。

○ 令和７年産米の「生産の目安」について

秋田県農業再生協議会は、昨年の米の品薄感などを踏まえ、十分な在庫を確保し、供給の安定を図るため、令和７年産米の「生産の目安」を、昨年より約1万1,000トン増の41万9,000トンとしました。

これを受け、昨年12月開催のにかほ市農業再生協議会では、令和７年産米の「生産の目安」は、前年比約300トン増の9,537トン、面積換算では前年比約58ヘクタール増の1,700ヘクタールとしております。

今後も、米の安定供給を維持するため、生産者や関係機関、各種団体と連携し、需給バランスを考慮した生産体制の整備に努めて参ります。

○ ハタハタ漁について

今季の県内のハタハタ漁獲量は、沖合・沿岸合わせて約14トンで、禁漁が明けた平成７年以降最少となった昨年を下回りました。

本市においても、沖合・沿岸合わせて前年比1.3トン減の4トンで、記録的な不漁となっており、県水産振興センターでは、海水温の上昇など環境変化の影響が大きいとしております。

今後の管理方法については、関係機関で議論をする予定とのことから、県の動向を注視して参ります。

○ 象潟前川地区景観保全型ほ場整備事業について

県は、前川地区の西側と隣接する象潟地区の一部、計 46.9 ヘクタールの面工事を、１月末で完成する計画でしたが、一部の工区で工期が延長されたため、全工区の完成は３月中旬になる見込みとなっております。

令和７年度の予定工区は、前川地区の東側と西側の一部、計 34.5 ヘクタールを計画しており、３月下旬には施工業者が決定する予定となっております。

○ 市内の経済状況について

昨年 10 月から 12 月の景況調査では、依頼した 68 社のうち 61％にあたる 42 社から回答がありました。全体としては前年同期と比較して「好転」が 12 社、「横ばい」が９社、「悪化」が 21 社となっております。

飲食・宿泊・運輸業においては、物価・燃油高騰による影響が大きく、更に国の「燃料油価格激変緩和対策」が終了したことから、今後も先行きが見通せない状況となっております。

製造業の 19 社においては、「好転」が８社、「横ばい」が７社に対し、「悪化」は４社と回答しており、ＤＩ値がプラスに転じております。今後の見通しについても、７社が「好転」、７社が「横ばい」と回答しており、明るい兆しが見えております。

○ 市内の雇用状況について

ハローワーク本荘管内の有効求人倍率は、12 月末現在で 1.19 倍となり、３か月連続で前年同月を上回っております。

業種別の有効求人倍率は、一般事務 0.43 倍、製品製造・加工処理 5.05 倍、

介護サービス職 3.40 倍など、大きな差がありますが、多くの業種において人手不足が課題となっており、今後も地域における雇用状況を注視して参ります。

○ 高校生の就職状況について

今春に卒業予定の本市在住高校生は前年と同数の 170 人で、就職希望者は３人増の 71 人となっており、就職希望地は県内が１人減の 56 人、県外は４人増の 15 人となっております。

12 月末現在の採用内定者は 67 人（内定率 94.4%）で、県内は 22 社に 53 人、うち市内は 10 社に 28 人、県外は 14 社に 14 人となっております。

○ 県事業「にかほ市課題解決ツアー」について

１月 21 日から 24 日までの４日間にわたり、首都圏企業を対象とした課題解決ツアーが県主催のもと、本市を主会場に開催されました。

これは、県内へのリモートワーク移住、サテライト拠点の誘致などを促進することを目的に、地方の課題解決をビジネスチャンスと捉えた 10 社 16 人が、市内の企業や市役所などを訪問しながら、課題解決プログラムに取り組み、地方進出を目指してもらうものです。

このツアーが契機となり、企業のビジネス拠点誘致に繋がることを期待しております。

○ 空き家の利活用について

1月末時点の「にかほ市空き家情報バンク」の状況は、新規登録が16件、売買・賃貸成立が５件、交渉中が５件となっており、昨年度を既に上回っております。

今後も、空き家相談会など、空き家情報バンクの活用を促進して参ります。

○ 鳥海山・飛島ジオパークの再認定について

鳥海山・飛島ジオパークは、10 月 30 日から 11 月１日までの３日間にわたり、４年に一度の再認定現地調査が行われ、１月 27 日に日本ジオパーク委員会において、２度目の再認定を受けました。

審査結果では、地域における国際的価値の共有などの指摘はありましたが、

鳥海山の山体崩壊と地震の隆起で生まれた象潟の景観保全と研究が、産学官一体で進んでいることなどが評価されております。

今後は、ユネスコ世界ジオパーク認定に向け、地域一体となった機運の醸成を図り、各種活動を推進して参ります。

○ 観光イベント等の状況について

冬季のイベントとして定着した「ジオサイト・スノートレッキング」を３回開催し、計 71 人の参加者がジオガイドの案内のもと、冬師湿原などの絶景や、動植物の痕跡などを楽しみました。

また、巾山スノーパークでは、２月 17 日現在、延べ 155 人が小学校の授業やスポーツ推進委員会のイベントなどで利用しております。

○ スポーツ賞及び健康スポーツ賞表彰について

２月８日、にかほ市スポーツ協会主催による「令和６年度にかほ市スポーツ賞及び健康スポーツ賞」の表彰式が、仁賀保勤労青少年ホームで開催され、功労賞や栄光賞など計 46 名と６団体が受賞しております。

また、５年ぶりにスポーツ講演会も開催され、本市出身の日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士である馬淵恵（まぶち　めぐみ） 氏による、食事の大切さについての講演が行われております。